

事業所名	社会福祉法人葛城市社会福祉協議会 放課後等デイサービス		公表日 令和 8 年 3 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動スペースが限られているため、活動内容を少人数制・グループ分けにするなど安全面に配慮しています。	・個人支援にあたっては、スペース不足と感じられる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	1	基準上の人員配置は適切であるが、個別サポート加算対象児童が多い日は支援密度が高くなるため、事前の支援内容共有職員間のフォロー体制強化等の調整を行い、支援の質の確保に努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		生活空間は視覚支援やゾーニングにより構造化されている。設備面では段差の解消等バリアフリー化を行っている。トイレが活動スペースから離れている構造であるため、トイレ利用時の声かけ確認、必要に応じた同行支援、利用児童の特性に応じた見守り強化を実施し、安全確保に努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		生活空間は日々の清掃および定期的な消毒を実施し、清潔な環境を維持している。利用児童が多い日は活動スペースが限られるため、活動内容の工夫やグループ分けを行い、安全かつ心地よく過ごせる環境づくりに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	イベント時や活動内容に応じて体育館スペースや創作室等の別室も活用し、こどもの特性や活動目的に応じた空間設定を行っています。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		日常的なミーティングや申し送りの中で、支援内容や業務改善について職員全体で話し合いを行っている。共有した課題をもとに目標設定・振り返りを行い、次の支援や業務改善につなげています。	・事業所内で話し合いをして、より良い業務ができるよう努めていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者向け評価表を実施し、保護者の意向・要望を把握しています。回収後はアンケート結果を全職員で共有し、課題や改善点を検討のうえ、支援内容や運営方法の見直しに活かしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員が意見を出しやすい環境を整えており、日常的に話し合いを行っている。提案や課題は会議等で共有し、必要に応じて業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	現時点では第三者による外部評価は実施していない。その代わりに、保護者評価や職員による自己評価を実施し、業務改善に取り組んでいます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		職員が研修に参加できるよう情報提供を行い、可能な範囲で外部研修への参加機会を確保しています。また、研修内容は職員間で共有し、事業所全体の支援力向上に努めています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		事業所の支援方針や活動内容を整理した支援プログラムを作成し、職員間で共有しています。また、保護者や関係機関にも分かりやすい形で公表し、理解を得られるよう努めています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		こどもの発達状況や生活状況、保護者のニーズ等についてアセスメントを実施し、課題を客観的に分析しています。その内容を基に個別の放課後等デイサービス計画を作成し、継続的な支援につなげています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		放課後等デイサービス計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者だけでなく、支援に関わる職員間で情報共有や意見交換を行い、共通理解のもとで検討を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		放課後等デイサービス計画については職員間で共有し、こどもの支援内容や目標を共通理解した上で、計画に基づいた支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		個々の行動観察などのアセスメントを行いながら把握し、必要に応じて客観的な視点を取り入れて確認しています。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		放課後等デイサービス計画については、ガイドラインに基づき「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の視点を踏まえながら作成しています。こどもの状況やニーズを整理した上で、必要な支援項目を設定し、具体的な支援内容を明確にしています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		活動プログラムの立案にあたっては、職員間で意見交換や情報共有を行いながら検討し、チームとして共通理解のもとで活動内容を決定しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		活動プログラムが固定化しないよう、こどもの発達状況や興味関心を踏まえながら、運動活動、創作活動、レクリエーション、季節行事等を取り入れています。職員間で意見交換や振り返りを行い、活動内容の工夫と充実に努めています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		こどもの状況や特性を踏まえ、個別活動と集団活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しています。日々の支援では集団活動を中心に実施しながら、個々の課題や支援目標に応じて個別での関わりを行い、適切な支援に努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援開始前には職員間で打合せを行い、その日の支援内容や活動の流れ、役割分担について確認しています。情報共有を行いながら職員間で連携し、チームとして支援を実施しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	支援終了後は送迎業務があるため、翌日の支援開始前に職員間で前日の支援内容の振り返りを行い、気付いた点やこどもの様子について情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の支援に関して支援記録を作成し、こどもの様子や支援内容を記録しています。記録内容は職員間で共有し、支援の検証や今後の支援の改善に活かしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを実施し、こどもの状況や支援の実施状況を確認しています。モニタリング結果を踏まえ、必要に応じて放課後等デイサービス計画の見直しを行い、支援の充実につなげています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		放課後等デイサービスガイドラインに示されている4つの基本活動を意識し、こどもの状況や興味関心に応じて活動を組み合わせながら支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		こどもが活動に参加できるような声かけや環境の工夫を行いながら支援しています。また、こどもの気持ちや状況を尊重し、難しい場合には無理に参加させることなく、本人の意思を大切にしています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議には、こどもの状況を理解している職員が参加し、こどもの様子や支援状況について情報共有を行っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	学校等の関係機関と情報共有を行いながら連携して支援を行っています。特に学校とはこどもの様子や支援内容について情報共有を行い、連携を図っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校と年間計画や行事予定、こどもの下校時刻等について情報共有を行っています。また、送迎時の引き継ぎや必要に応じた連絡調整を行い、学校と連携しながら支援を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	就学前の保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等での様子については、主に保護者からの情報提供を通して状況を把握し、こどもの理解や支援に活かしています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		学校卒業後に障害福祉サービス事業所等へ移行する際には、それまでの支援内容やこどもの様子について必要に応じて情報提供を行い、円滑な移行につながるよう努めています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		地域の児童発達支援センターとの連携については、現時点ではスーパーバイズや助言を受ける機会はありませんでしたが、今後必要に応じて連携や研修の機会を検討していきたいと考えています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他のこどもと活動する機会は現在のところありませんが、今後機会があれば検討していきたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		（自立支援）協議会等への参加の機会はありませんでしたが、今後機会があれば参加について検討していきたいと考えています。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日頃から連絡帳や送迎時の引き継ぎ、面談等を通して保護者とこどもの様子について情報共有を行っています。こどもの発達状況や課題について保護者と共通理解を持てるよう努めています。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や保護者向け研修の機会は現在のところ設けていませんが、必要に応じて情報提供等を行えるよう検討していきたいと考えています。		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	契約時等に運営規程や支援プログラム、利用者負担等について説明を行い、保護者に理解していただけるよう丁寧な説明に努めています。		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意向を確認する機会を設け、子どもの状況や希望を踏まえながら計画作成を行っています。		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	放課後等デイサービス計画について保護者に内容を説明し、理解していただいた上で同意を得て支援を行っています。		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	定期的な面談でお話をきかせてもらっています。		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	保護者会等の開催は現在のところ行っていませんが、日頃の連絡や面談等を通して保護者との情報共有を行っています。		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	子どもや保護者からの苦情については、対応体制を整備するとともに、苦情があった場合には迅速かつ適切に対応するよう努めています。	・今後も丁寧な対応に努めたい。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	ホームページ、SNS等による情報発信は十分に行えていない状況ですが、保護者へ必要な情報が伝わるよう、今後情報発信の方法について検討していきたいと考えています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	個人情報の取り扱いについては、外部に漏えいすることがないように十分留意し、適切な管理に努めています。	・今後も丁寧な対応に努めたい。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達については、状況に応じて分かりやすい説明を心がけるなど配慮しています。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	地域住民を招待する行事等は現在のところ実施していません。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を整備し、職員間で共有しています。また、必要に応じて訓練の実施しています。		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害の発生に備えて定期的に避難訓練等を実施しています。		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況については、事前に保護者から情報を確認し、職員間で共有しています。		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	食物アレルギーのある子どもについては、医師の指示書はありませんが、保護者から状況を確認し、職員間で共有しながら適切に対応するよう努めています。		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を実施するなど、安全管理に留意した上で支援を行っています。		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	子どもの安全確保に関しては、安全計画に基づく取り組み内容について保護者に周知し、必要に応じて家族との連携を図っています。		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	ヒヤリハットについては、事業所内で共有し、再発防止に向けた方策を検討しています。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	虐待防止に関しては、職員に研修の機会を確保するとともに、日常の業務において適切な対応ができるよう取り組んでいます。		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	身体拘束を行った事例はありませんが、やむを得ず身体拘束を行う場合の方針については、組織的に決定し、事前に保護者へ説明・了解を得ることとしています。		